

今回のヒマラヤ挑戦は5月4日付の信毎23面の社会面でも大きく取り上げられています。



ヒマラヤ挑戦の手塚慧介君

手塚慧介 白馬高校国際観光科 山岳部

お父さんは平成28・29年度に青少年育成指導員だった手塚勝幸さんです。

春から、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。このかわら版が発行される頃には、日常の生活が少しでも戻ることを祈っています。分館活動も現在のところ停止状態です。

対応策として、インターネット活用の「テレワーク・オンライン会議」等が推進されています。昨年、思い切ってスマホにし苦労している齢70歳の私には、新しい仕組みにはついていけないと思っています。若い人には申し訳ありませんが、勤労時代、そろばん、和文タイプからパソコンのワード・エクセルへと事務でも苦労しましたが、多くの方と顔を合わせて仕事ができ、良き時代であったと感じています。反面、やつてみたいとの気持ちも少しあります。

この新しい仕組みが、近い将来主流になれば、分館（公民館）の活動と運営も新たな時代となり、若い人が中心になると思いますし、期待もしています。

諏訪形出身の手塚慧介君、現在白馬高校三年生山岳部所属。中学まで地元諏訪形で過ごした慧介君ですが、自治会交流親睦会や各行事に積極的に参加していました。山好きが縁で、私と交流が始まりました。一緒に近くの里山でボルダリングしたり、川上村廻り自転車でクライミング、ネイチャー活動、スキーや吹奏楽と多彩な活動に走りまくっていました。

当時、将来の夢を聞くと、二十歳までに七大陸の最高峰制覇を目指したいと語っていました。確かに達成困難な夢だと思っていましたが、昨年ヒマラヤのゴーキヨピーク（ネパールヒマラヤのクンブ地方にある標高5557mの峰）の登頂成功を收めました。改めて慧介君の行動力と情熱に感銘したところです。

今回挑戦のアマダブラム峰（標高6828m「母の首飾り」という意味）は三角錐に尖る難易度の高い山で、山頂付近は垂直に近い氷壁となつており、高い登攀（とうはん）技術を必要とする山です。無事成功を!!

地元青年の勇気あるチャレンジに応援を!!

上田市の条例説明会について メガソーラー設置に係る

諏訪形自治会 総務部長 金井保芳

五月二十日、諏訪形公民館に於いて上田市都市計画課の担当者より「上田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」の説明がありました。この条例は昨年の七月一日に定めたもので、同年八月一日から施行されており、上田市がメガソーラー設置事業者に対しいろいろな条件を付けて

適切な場所に設置するよう促し、且つ、地域住民等との良好な関係に配慮しなければならないと定めています。事業者は御所沢を挟んだ東西にそれぞれ1弱の土地を取得し

てメガソーラー設置の準備を進めており、設置個所に標識を立てて標識設置届を上田市に提出し、上田市はこれを受理しております。その上で上田市では、事業者に事業用地を明確にする為、事業用地の境界の確定を隣接の地権者と行う必要があることを指導しているとのことです。



お近くの協議員さんか左記までお申込下さい。
「大型生ごみ処理機利用者の会」
代表 窪田 和人

申し込み先



大型生ごみ処理機 利用者募集

諏訪形自治会では上田市からの貸与による大型生ごみ処理機を使用して家庭から排出される生ごみの減量化及び堆肥化するモデル事業を実施しています。

諏訪形公民館の南側駐車場に設置されていて2月より稼働しています。累計で350kgの生ごみが投入され、20kgの堆肥が生成されました。堆肥は利用者の皆様に花壇用や家庭菜園用に利用されました。これから野菜ごみや果物ごみがたくさん出る時期となります。二十四時間生ごみを出すことができますのでご利用下さい。利用料及び会費は無料です。お申込み頂いた方には、鍵とバケツ及び利用手帳を貰う事になります。

ついでにしましても、メガソーラー設置場所は、一部「土石流危険渓流」に該当しており、被害が予想される朝日ヶ丘、御所、川辺町及び倉升の各自治会長等が今回の説明会に参加されました。

いざれにしましても、メガソーラー設置場所は、一部「土石流危険渓流」に該当しており、被害が予想される朝日ヶ丘、御所、川辺町及び倉升の各自治会長等が今回の説明会に参加されました。

第2号
発行 諏訪形自治会
会長：細川義雄

城南公民館
諏訪形分館長 西條和男

諏訪形自治会
会長：細川義雄



城下地区排水対策事業に係る説明会

五月二十五日、上田市土木課の担当者三名による城下地区排水対策事業の説明が行われ、関係自治会の担当役員の方が出席されました。

今年度から令和七年度にかけて、金窓寺川、中村及び御所沢川に調整池（川が溢れて洪水とならないよう一時的に雨水を溜めておく池）を三～四カ所整備します。総工事費六億二千万円は国からの交付金を利用し、不足分は上田市債を発行する予定とのことです。

金窓寺川の調整池は来年度完成の予定で、広さは千七百m²（約514坪）。貯水能力4千トン。三浦土木課長のお話では、「概ね十年に一度の災害に対応でき、度重なる豪雨被害の軽減を図ることを目的としています。」とのことです。

諏訪形地区の皆さんに対しても、今年の八月以降再度詳しい説明会が開催される予定です。



諏訪形誌発刊について

五年間に亘る編集作業の結果、今秋に諏訪形誌が発刊されることとなりました。編集者の皆様お疲れ様でした。

つきましては、自治会員のご家庭に一冊無償で配布させていただきます。尚、今年度発刊前に転出されるご家庭で希望される方は、当該ブロックの協議員までお申し出ください。後日お届け致します。

春の防災訓練（放水訓練）実施される

諏訪形防犯・防災協議会会長 小林久敏

令和元年九月二十三日諏訪形公民館南側駐車場内に自治会の防火対策として、国庫補助事業により四十トンの水が

貯水できる耐震性貯水槽（消防水利）が新設されました。

諏訪形自治会及び諏訪形防犯・防災協議会では、五月九日（土）午前十時から当該防火水槽を使用して初の放水訓練を行いました。

上田中央消防署から一名、上田市消防団第六分団から八名、自治会関係者十五名の計二十四名のご参加をいただきました。終了後、公民館に於いて片岡分団長より火災予防及び団員勧誘の説明があり、その後話し合いが行われました。

今回の訓練にあたり、新型コロナウイルス感染防止のため「密閉・密集・密接」を避け、マスクを着用し、消毒液を準備するなど十分な配慮を行い無事終了いたしました。

関係された皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



不法投棄ゴミについて

最近、諏訪形公民館の西側の資源回収用具置き場周辺にゴミが捨てられるようになりました。決められた時間、決められた場所に決められた種類のゴミを出すようにします。不法投棄ゴミについては、自治会役員が大変苦慮しております。不法投棄は犯罪です。不法投棄を目撃したときは、危険を伴う恐れがありますので、直接注意することはせず、直ちに関係機関に連絡してください。

（連絡先）

- 上田警察署 0268-22-0110
- 上田市廃棄物対策課 0268-22-0666

（連絡時に教えて頂きたいこと）

- いつ・・・不法投棄されていた時間帯、時期
- どこで・・・場所
- だれが・・・捨てた人の情報（車のナンバー、人物像など）
- どんな・・・ごみの種類と量



↑
諏訪形公民館の西側の資源回収用具置き場に捨てられていた不法投棄ゴミです。

編集後記

コロナ禍で各種の行事が中止になる中、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、始めて「クラウドファンディング」というものをやつてみました。手塚慧介君のヒマラヤ登頂成功することを祈っています。

（編集委員 金井）

（五月中に一部の協議員等で行いました。）
金窓寺川周辺及び深町橋周辺草刈2回目（九月二十五日） 状況を見て判断